

寅さん歩 その 11

江戸・東京の祭-63

(花の祭-13)



平野 武宏

【六義園のつつじ】 文京区本駒込 6 丁目 最寄駅 JR 駒込駅

「六義園」は五代将軍 徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主 柳沢吉保が 1702 年（元禄 15 年）に築園した和歌を基調とする「回遊式築山泉水」の大名庭園です。明治時代に入って、三菱の創始者である岩崎彌太郎の別邸となりました。1938 年（昭和 13 年）岩崎家より東京市（都）に寄付され、1953 年（昭和 28 年）国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。

寅次郎の住む大塚駅からは山手線で二駅目、歩いて片道約 25 分のお散歩コースにあります。枝垂れ桜や紅葉の時期（寅さん歩 08 東京の桜 2013 及び 82 東京の紅葉・黄葉をご参照下さい）は訪れましたが、つつじの見頃は初めてです。入場料は 300 円（65 歳以上 150 円）です。寅次郎、六義園を含む都立文化財 9 庭園共通の年間パスポート（65 歳以上は半額で 2000 円）で通っています。2019 年（平成 31 年）4 月 25 日訪問、約 30 種・1 千株のつつじが見頃でした。園内で一番高い築山（標高 35m）富士見山に上る藤代峠のつつじです。紀州（今の和歌山県）にある同名の峠から名付けられました。



【旧三河島污水処分場ポンプ場施設 つつじ観賞会】

荒川区荒川 8 丁目 最寄駅 東京トラム（都電荒川線） 荒川二丁目停車場

「広報東京都」で 2019 年（平成 31 年）4 月 27 日の開催を知り訪問しました。寅次郎、施設見学で訪問したことがありますが、つつじの季節は初めてです。

又、桜の名所とも知りました。「旧三河島污水処分場唧筒(ポンプ)場施設」は隅田川中流に位置する旧下水道処理施設で東京市改正事業の一環として東京市技師 米元晋一を中心として建設が進められ、1922 年(大正 11 年)3 月運用を開始、1999 年(平成 11 年)3 月別系統の隣接ポンプ施設(三河島水再生センター)に切り替え、引退しています。わが国最初の近代下水道施設の歴史的遺構として高い歴史的価値が認められることから、2007 年(平成 19 年)国指定重要文化財(建造物)に指定されています。大正時代のロマンを残す煉瓦の建物と約 200 株のつつじの共演です。



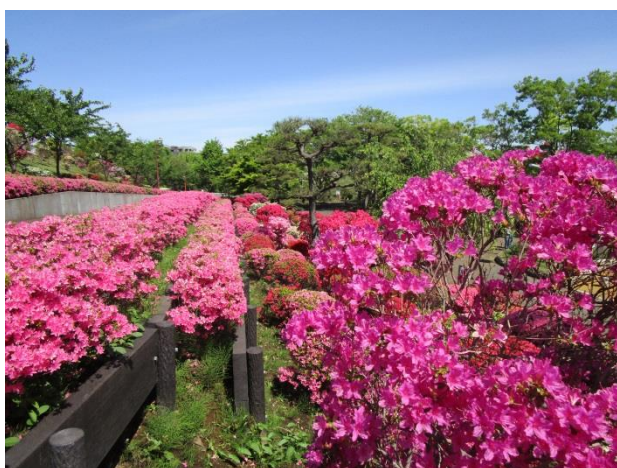
写真下は施設ホームページから引用の満開時の全景です。



【なぎさ公園 つつじ山】 江戸川区南葛西7丁目

最寄駅 JR京葉線 葛西臨海公園駅からバス利用

東西約3kmにわたる江戸川区の総合レクリエーション公園の中に「なぎさ公園」の「展望の丘」に「つつじ山」が2017年（平成29年）誕生。「つつじ」は江戸川区の花、丘の斜面に植栽した55品種、約1万株が見頃でした。2019年（平成31年）4月28日の訪問です。展望の丘からは旧江戸川が望めました。



「寅さん歩」89 江戸・東京の祭-18（花の祭-4）及び124（花の祭-11）をご参照ください。

【こぼれ話】 塩船観音寺つつじまつり 東京都青梅市塩船

最寄駅 青梅線 河辺駅からバス利用

2019年4月17日の東京都ウォーキング協会の例会で羽村のチューリップを見た後（寅さん歩256 江戸・東京の祭-62をご参照ください）歩いて訪問しました。祭りは4月中旬から5月初旬とのことで、写真下左のようにまだ

早咲きのつつじがちらほらでした。境内の「ぼけ封じ」にご利益のあるという薬師堂(写真下右)でお賽銭を弾み、これ以上の「ぼけ封じ」をお願いして帰りました。



約 5000 坪の広大な境内に咲く約 20 種、2 万本のつつじは 5 月連休には見頃とのことです。つつじ祭りは 1967 年(昭和 42 年)から始まり、2010 年(平成 22 年)つつじ園頂上に塩船平和観音が落慶されています。
まだ咲きが少ないので無料でしたが、入山料が大人 300 円、子供(小学生) 100 円がかかります。新宿から約 1 時間の東京都ですが、5 月連休の大混雑を避けて満開のつつじはパンフレット写真で済ませました。



平成最後の「寅さん歩」でした。

次回は 令和最初の「寅さん歩」
官庁の食堂めぐり-14 品川区役所 です。

平野 寅次郎 拝